

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2015-16 Rotary International District 2760 ガバナー月信

2015  
September

# 9



写真:せともの祭

※掲載されている写真等の無断転載はご遠慮ください。



Be a gift to the world

世界への  
プレゼントになろう



## CONTENTS

- |    |                     |    |                   |
|----|---------------------|----|-------------------|
| 02 | ガバナーメッセージ           | 13 | 青少年交換学生           |
| 03 | 「基本的教育と識字率向上月間によせて」 | 14 | ロータリー希望の風奨学金について  |
| 04 | 「ロータリーの友月間によせて」     | 18 | ロータリーコーディネーターニュース |
|    | 【ガバナー活動報告】          | 20 | ハイライト米山           |
| 05 | ○表敬訪問               | 22 | 文庫通信              |
|    | 【委員会報告】             | 23 | 会員数及び出席報告         |
| 06 | ○ロータリー財団セミナーを終えて    |    |                   |
| 07 | ○第1回国際奉仕委員長会議 報告    |    |                   |
| 08 | ○地区内クラブ研修情報委員長会議 報告 |    |                   |
| 09 | ○被災高校生支援委員会活動 報告    |    |                   |



# ガバナーメッセージ

ガバナー 加藤 陽一



ロータリアンの皆様こんにちは。

毎日とても暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしですか。

ガバナー月信9月号がお手元に届く頃は、ガバナー公式訪問が佳境を迎えている所でございます。各クラブの皆様には大変お世話をかける事と存じますが、宜しく願い申し上げます。

一方、WFF実行委員会によるワールドフード+ふれ愛フェスタの準備、岡崎東ロータリークラブ様のホストで開催される地区大会の準備も真っ最中でございます。10月24、25日のワールドフード+ふれ愛フェスタは新しい催し物も沢山ございますので、皆様と共に楽しい2日間を楽しみたいと思いますので多数のご出席をお待ちしております。また、10月31日、11月1日の地区大会にはJR東海代表取締役名誉会長・葛西敬之様を講師にお迎えして、リニア新幹線のお話をいただく事になっております。全員登録の勢いでご参加いただき、楽しい地区大会に出来ればと思っておりますので宜しく願い致します。

今月は新しく「基本的教育と識字率向上月間」となりました。例年の通り、各クラブに於かれましては財団委員会あるいは国際奉仕委員会と共に特に東南アジア地域の「基本的教育・識字率向上」にお力をいただければ幸いと存じます。

会長・幹事・会員の皆様によろしく願い申し上げます。

「BE A GIFT TO THE WORLD」



## 「基本的教育と 識字率向上月間によせて」

地区国際奉仕委員会 副委員長 堀江 英弥



近年、宗教や民族などの違いで各地に紛争が起きていますが、その多くは基本的教育が不十分な地区に多く見られます。少しでも解決に向かうには決定的な解決策はありませんが、RIが重点項目に掲げている6項目のひとつである、基本的教育を受け識字率が向上することで紛争が減少して、生活の向上が図られれば良いと思います。

現在、世界の人口は70億人を超え、さらに増加の一途をたどっています。世界銀行の2010年の報告によると、極度に貧困と言われる人は12億人と言われ、1日1.25ドル以下で暮らしています。また、世界にはアフリカや東南アジアを中心に15才以上の非識字者は8億人、そのうち64%が女性といわれています。これら非識字者に基本的教育を受ける機会を作り、女性の識字率を高め、基本的教育の必要性を感じ取ってもらい、子供たちを学校に通わせることが必要です。

これらの環境を一步でも改善するためにも、各ロータリクラブ単位での積極的なWCS活動をお願いします。グローバル補助金や地区補助金を利用されることもお勧めします。また地区委員会としては10月に開催されるWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)の余剰金の一部を利用して、今年度はミャンマーに簡易水道施設及び教育資金の支援を進めますのでご協力をお願いします。



## 「ロータリーの友月間によせて」

ロータリーの友地区代表委員 **水野 吉紹**



9月が「ロータリーの友月間」であることをご存じですか?これまでは4月を雑誌月間としてロータリーの地域雑誌および「THE ROTARIAN」を推進してきましたが、RI理事会は2015-16年度より特別月間を大きく変更し、従来の雑誌月間はなくなりました。ロータリーの友委員会・理事会の決定で9月に「ロータリーの友」月間を新設致しました。日本独自の特別月間として「友」を推進しプロジェクトのアイデア、新会員の勧誘、ロータリーへの情熱の喚起の為「友」をどのように利用するのかを話し合います。

ご存じのように「ロータリーの友」はRIの認可を受け発行されているロータリーの地域雑誌です。ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結しているという認識のためにも必要な媒体であることをご理解ください。従って広報紙ではなくロータリーについての情報誌です。つまりロータリアン以外の方を対象にして編集はされていません。対外的に読んで頂けるように努力はしておりますがあくまで目的は世界や日本におけるロータリーの状況や活動につき、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有する編集を心がけています。また「ロータリーの友」はロータリアンの公開討論の場でもあります。ロータリアンとして意見や経験談、職業上の知識を掲載し、堂々と議論して交流を図る「広場と言う空間」を提供します。縦組みがこれに当たります。

ロータリーの友では会員各位からのご投稿をお待ちしております。クラブ・地区での活動、ロータリアン同士の交流、ロータリーに対する意見等をロータリーの友事務所までお送りください。投稿規定等はホームページ「ロータリージャパン」に掲載されています。

ここであなたの原稿が「友」誌に載るコツをお知らせします。①動きの在り活動の様子がわかる写真を付ける②全国の人が読むことを意識して原稿を書く③読者が興味を持ち役立つ事を書く④新鮮なネタを提供する・・・この4つがあれば掲載される可能性は大です。

ロータリークラブの正会員にはRIの機関紙「THE ROTARIAN」またはRI理事会が承認した地域雑誌「ロータリーの友」を有料購読し会員である限り購読を続けることを会員身分保持の条件となっています(標準ロータリークラブ定款第14条およびRI細則第20条に定められています)2013年の規定審議会でロータリーの地域雑誌につき会員は印刷か電子のいずれかを選択し購読する事が出来るようになりました。毎月定期的にお手元に届く「友」は最も効率よくロータリーの情報を得る事ができ、多くの方の意見や経験を観たり読んだりすることができるロータリアン共有の宝物です。

ロータリーを語るとき、ロータリーを思うとき、心の中には各人にとってのロータリーが広がっているはずです。一人ひとりの読み手の生き方により読み方が異なって良いと思います。何故「友」を読むのかの答えの一つがそこにあるように思います。





## ロータリー財団セミナーを終えて

地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 文勝



8月7日金曜日12時45分より名古屋東急ホテルにて地区ロータリー財団セミナーを開催致しました。加藤陽一ガバナーをはじめ、地区役員の皆さま、地区内80クラブ(3クラブ欠席)の代表者の皆さま、お客様として、ロータリー財団地域コーディネーターの竹腰兼壽さま、恒久基金/大口寄付アドバイザーの相澤光春さま、平和フェローの澤屋奈津子さん、財団奨学生の花倉由莉さん、特定非営利活動法人AMDA社会開発機構の理事長 鈴木俊介さまと、大変多くのお客様、特別出席者、財団学友の皆さまにご出席を頂きました。ありがとうございました。

ロータリー財団の活動内容・活動範囲は大変広いものがあります。セミナーの時間が長いとご指摘を受けることがあります。時間短縮はなかなか難しいですが、財団をより多く、深くご理解を頂けるような進行を心掛けました。試みとして、分科会を実施しました。第1分科会は地区補助金、第2分科会はグローバル補助金、第3分科会は奨学基金・学友・平和フェローシップ、第4分科会は職業研修チーム(VTT)という4つの分科会です。二部制にしましたので、30分で参加者が交代して頂き、おひとりが二つの分科会に参加できるように致しました。今回のセミナーを踏まえ、次回にはもう少し意見交換ができる時間を持てるように考えたいと思います。その他改善すべき点は多々ありましたが、次回の財団系のセミナーへの解決課題としたいと存じます。今後共、宜しく願い申し上げます。





## 2015-16年度 RI2760地区 第1回国際奉仕委員長会議

地区国際奉仕委員会 副委員長 鈴木宏司



日 時：2015年7月31日(金)  
15:30～17:30 委員長会議  
17:30～19:00 懇親会

場 所：名鉄グランドホテル11F



内 容：

杉浦委員長挨拶、加藤陽一ガバナーの挨拶後、第1部講演として、特定非営利活動法人AMDA 社会開発機構の大谷聡様と理事長の鈴木俊介様よりAMDAの活動についての話と、ロータリークラブとの関係について話をして頂きました。大変興味深い話で、終了後参加されていたクラブより問い合わせが多くありました。



大谷聡様



鈴木俊介理事長



第2部として地区財団補助金委員会の櫻井委員長と高山副委員長より、地区補助金及びグローバル補助金について説明していただきました。国際奉仕委員会では必要となる補助金ですので皆さん興味深く話を聞いていました。終了後、懇親会・意見交換会の席でもAMDA社会開発機構の鈴木理事長、大谷様、また地区補助金委員会のお二人にも参加頂き活発な話がされていました。



## 地区内クラブ研修・情報委員長・ 研修リーダー会議報告

地区研修委員会 委員長 成田 洋之



**日時** 2015年8月6日(木) 14時～17時 **場所** 名鉄グランドホテル(柏の間)

**出席者** 各クラブ研修委員長・情報委員長・並びに研修リーダー及び代理者

**特別出席者** 加藤陽一ガバナー、千田毅研修リーダー、江崎柳節研修カウンセラー、松前憲典研修カウンセラー、村上茂登、平松清美、藤田義明、彦坂育甫、小幡輝雄、杉浦世志朗、各ガバナー補佐、大竹一義地区幹事、加藤睦彦地区副幹事

**開催目的** クラブで研修を行うための講演を聞き、RLI方式のワークショップを体験して頂いて、入会3年未満・5年～10年の中堅会員研修会等をRLI方式で開催をして頂くため。

**会議前半** ○講演：「ロータリーの歴史」／関口宗男地区研修委員ファシリテーター  
関口前委員長と成田委員長の共著の「研修テキスト」を基にシェルドンについて、「サービス」の考え方を講演。

**会議後半** ○RLI討議方式によるセミナー  
12グループに分かれて各クラブの研修の実情、講演「ロータリーの歴史」、テキストの「ロータリーの誕生」について、討論をした。この討論の様子は「討論報告」として地区のホームページ「委員会活動報告」にアップします。

**講評** ○江崎柳節研修委員会カウンセラー  
有意義な、大変立派なワークショップでした。皆様はクラブに持ち帰りになり、クラブレベルで行ってください。研修はワークショップで集まった人々の売りの思想があり、思いを十分に引出してあげ皆様と共有出来るようにする。10%ルールについて、なんでも10%まで同業者を入れても良いのではなく、クラブ細則で定めて人数を制限し良い人を入れて下さい。

**講評** ○松前憲典研修委員会カウンセラー  
今日は熱心に各テーブル分かれて討議頂き有難うございました。今日研修頂いたRLI方式の研修会は全国34地区の半数の17地区で行われています。この2760地区は模範的な地区とお褒めを頂いています。お手元の「研修テキスト」をクラブの全員に配布して頂けると有り難いです。そして、皆様はクラブのリーダーとしてテキストの内容をまとめて檀上に上がって下さい。

- 委員会よりお願い**
- 各クラブで新会員オリエンテーションだけでなく、3年未・5年未満等のRLI方式の研修会を開催して下さい。研修委員会にお知らせ頂ければお手伝いします。
  - 委員会名を研修委員会にして下さい。
  - 「研修テキスト」を各クラブで活用して下さい。

文責／山名敬一



## 被災高校生支援委員会活動報告

被災高校生支援委員会 委員長 本多 満



### 奨学生がスポーツの分野で活躍しています

日頃は被災高校生支援事業に、ロータリアンの皆様には、御理解、御協力を賜り心より感謝申し上げます。当委員会の事業の一つ、奨学金支援事業は、本年8月末に第6回（最終回）の送金をもって終了となります。また、心の交流事業は奨学生が来年3月に高校を卒業するまで、継続して行われます。

さて、奨学生のうち2名の方がスポーツの分野で活躍していることが、テレビ、新聞等で報道されていますので、皆様に報告させていただきます。千田京平君（花巻東高校野球部所属）は、2015年の高校野球、岩手県大会で優勝し、夏の甲子園での全国大会に出場を決めました。報道によると3番レフトとして、中心選手として活躍しました。

また、情報が少し古いのですが、田代優仁君（盛岡四高陸上部所属）は、2014年10月日本ジュニア・ユース選手権（名古屋瑞穂競技場で開催）の110m障害で優勝（タイム13秒84 岩手県新記録）しました。他にもインター杯、文化系クラブで活躍している方もいます。2760地区のロータリークラブが被災高校生支援事業で支援している奨学生が伸び伸びと活躍している姿を、皆様に報告させていただきます。

奨学生の卒業まで、残り7ヵ月余りとなりましたが、最後まで本事業をしっかりと進めてまいりますので、引き続き御支援をお願いします。

# 花巻東高硬式野球部の千田京平君 亡き母と「再会」信じ



【写真＝打撃練習に励む花巻東高硬式野球部の千田京平君。亡母と約束した甲子園出場に情熱を燃やす＝花巻市・花巻東高グラウンド】

「3番ファースト、千田君」。球場に響くアナウンス、スタンドの大声援が誇らしい。天国の母は聞いているだろうか。

花巻市の花巻東高硬式野球部の千田京平君(2年)は生後すぐに父幸平(さいへい)さんが急逝し、女手一つで育ててくれた母博美さんは東日本大震災で亡くなった。

当時は陸前高田市の中1年生で卒業式の練習中だった。生徒約100人が親の迎えを待ち教室で夜を明かしたが、朝には自分一人だった。目を閉じれば、母の生存を信じてがれきの街をあてもなく歩いた日々が思い浮かぶ。食品加工会社で働いた母が苦勞して新築した自宅は全壊。一人で4時間近く避難所を捜し回った。

高田高を卒業したばかりで、大船渡市内で被災した兄晃平さん(21)とは1週間後に再会できたが、「諦めと諦められない思い」で待ち続けた母は数カ月後、遺体で見つかった。「不安がずっと続くこともつらかった。区切りをつけて頑張るしかない。自分でも思い出さないようにしていた」と明かした。

震災後は大船渡市内の親類宅に身を寄せ、高校進学は迷った末に花巻東高の寮生活を選んだ。決断の背景には2009年に菊池雄星投手を擁したチームの鮮烈な記憶があった。「甲子園のテレビ中継を見ていて、母が『甲子園に出たら応援に行きたい』と話していたのを思い出したんです。亡くなったけれど、連れて行ってあげたい。母との約束です」と力強く語った。

一般入試で飛び込んだ野球部。授業が終わると、部活と自主練習が夜遅くまで続き、野球日誌や洗濯を済ませて午前0時すぎに寝る生活だ。「朝練習もあり午前5時半起床。思った以上にきついが、好きな野球に集中できる環境ありがたい。ここで頑張らなければ、支えてくれた方々に申し訳ない。裏切るわけにはいかない」と話す。

入学当初は佐々木洋監督に「父親だと思って生活で困ったら相談しろ。でもグラウンドに来たら特別扱いしないぞ。ついて来れるか」と心配されたが、打撃力で頭角を現し1年秋からベンチ入り。被災者と言われたくないという反骨心と覚悟でチームに欠かせない選手に成長した。指揮官は「複雑な思いを抱えて一般入学した選手が今や3番打者。まさに全力で今を生きている」と感心する。

震災から3年7カ月。被災者対象の奨学金制度などで金銭的な不安を感じることなく生活はできている。「仲間にも恵まれ、監督やスタッフも親身になってくれて本当にありがたい。もう寂しさはない」とはにかんだ。

全てを忘れて白球を追う。今はそれだけで幸せだ。母は見ているだろうか。甲子園での「再会」を信じる16歳は決して諦めない。

(花巻支局・村上弘明)

## 4年後の自分へ

大学に進み20歳の成人式を迎えていたい。

震災後にいろいろ助けてもらった方々に立派な姿で成人のあいさつをして恩返しをしていく。大学でも野球を続けようと考えているが、将来の夢は消防士か、花巻東高のトレーナーになること。どちらも誰かを支える仕事で、この夢を貫きたい。今からしっかり決めておかないと目標は達成できない。どこかで変えてしまうことは考えていないし、夢に向かってコツコツ準備を進めていきたい。

# 花巻東・千田、決勝で3安打! 亡き母との「約束」果たす／岩手

第97回全国高校野球選手権大会岩手大会決勝(24日、花巻東9-8一関学院=延長十三回、県営野球場)花巻東が延長十三回の末、9-8で一関学院を振り切り、2年ぶり8度目の夏の甲子園切符をつかんだ。試合は約3時間半に及び、両チーム合わせて34本のヒットが飛び交う熱戦だった。

「お母さん、行ってくるよ」。写真の母はいつもと同じ笑顔を浮かべていた。花巻東・千田京平外野手は陸前高田市の第一中学1年のときに東日本大震災が起きた。食品加工会社で働いていた母、博美さんは数カ月後、遺体で見つかった。生まれてすぐに急逝した父に代わり、女手一つで育ててくれたかけがえのない母だった。

震災後は大船渡市内の親類宅に身を寄せ、岐路を迎える。高校進学で迷ったときに思いだしたのはやはり母だった。かつて母は「甲子園に応援に行きたい」と話していた。母の願いをかなえるため、強豪の花巻東を選び、一般入学で野球部の門をたたいた。特待生らに混じり、レギュラーの座をつかもうと必死で得意の打撃を磨いた。練習は嘘をつかなかった。決勝で放った3安打はいずれも、狙いすました流し打ち。右方向に鋭い打球が飛んだ。

一関学院の野々村力外野手は同じ中学のチームメート。試合終了のあいさつのあと、「がんばれよ」と声をかけられた。もう一つ被災地の思いを背負った。

「きっと母も見守っていてくれたと思う。母さん、約束通り、連れて行くよ」

少年は静かに空を見上げた。

(産経新聞 高木克聡)



優勝して喜び合う花巻東ナイン=岩手県営球場  
(撮影・今野顕)

# 盛岡四高・田代が男子110障害V 日本Jrユース陸上



【名古屋市で運動部・久慈陽太郎】陸上の日本ジュニア・ユース選手権第1日は3日、名古屋市瑞穂陸上競技場で行われ、男子ユース110メートル障害で田代優仁(まさひと)(盛岡四高2年)がジュニアハードル県高校新の13秒84をマークし優勝した。男子ユース400メートルの佐々木愛斗(まなと)(盛岡南高2年)は47秒90で2位に入った。田代は予選2組でジュニアハードル県高校記録を更新する14秒02をマークし、1位で突破。決勝でさらにタイムを縮めた。女子ジュニア100メートル障害の荒川沙絵(筑波大1年、盛岡一高)は準決勝で敗退した。ジュニアは主に高校1年から大学1年、ユースは主に高校1、2年を対象。

【写真＝男子ユース110メートル障害決勝

スタートから勢いに乗り、ジュニアハードル県高校新の13秒84で優勝した田代優仁(盛岡四高)＝名古屋市瑞穂陸上競技場】

## スタート決め勢い 田代

「よっしゃー」。男子ユース110メートル障害の田代優仁(盛岡四高2年)は電光掲示板で優勝を確認すると、会場にひときわ響く大声で歓喜した。

予選からジュニアハードルの県高校記録を塗り替える走りで絶好調。肌寒いことを考慮し、大きく速く動いて体を温めることを心掛けた。

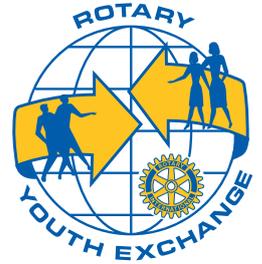
2位だった昨年の東京国体で敗れたライバル金井直(神奈川・橘高2年)は調子を崩し予選敗退。「今度は自分が勝つしかない」と闘志を熱く燃やした。

前回進めなかった決勝の舞台。涙をのんだ悔しさを晴らすと決意していた。「最初から速度に乗らないと勝負できない」。一番重視しているスタートダッシュを成功させ勢いに乗った。スピードを落とすことなく一気に駆け抜け、叫びながら全力でゴールへ飛び込んだ。表彰式では「お世話になった人や周りの仲間感謝したい」と誇らしげに金メダルを高く掲げた。

千葉信彦監督は「やり過ぎと思うほどの練習をコンディションを崩さずに積んでいる。これを結び付けることができた結果」と努力を惜しまなかった、まな弟子の栄光をたたえた。

5日は400メートル障害に挑む。「気持ちを入れ替え、ベストを尽くすことだけを考えて走りたい」。慢心なく自分自身に向き合う16歳はさらなる飛躍を期す。

(久慈)



# 2015-16年度 青少年交換学生

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER September 2015-16 Rotary International District 2760



## 派遣 OUTBOUND

上から、氏名／派遣先／スポンサーRC



濱田 かすみ

**アメリカ**  
Southwest Omaha Rotary Night Club  
(第5650地区)  
**豊橋北RC**



中西 里緒

**アメリカ**  
Bradford  
(第7280地区)  
**津島RC**



杉浦 彩希

**スイス**  
zurich zoo  
(第2000地区)  
**高浜RC**



村松 美子

**アメリカ**  
Highland Park  
(第6440地区)  
**高浜RC**



江坂 悠奈

**フランス**  
ANGOULEME Les eaux claires  
(第1690地区)  
**刈谷RC**



中嶋 紗菜

**アメリカ**  
Mason  
(第6360地区)  
**安城RC**



酒井 雄史

**フランス**  
Rotary Club de Cognac  
(第1690地区)  
**名古屋北RC**



渡辺 玄

**ブラジル**  
Piracicaba Vila Rezende  
(第4310地区)  
**名古屋大須RC**



渡辺 真希

**アメリカ**  
Metro North  
(第5970地区)  
**一宮RC**



設楽 拓

**アメリカ**  
Jefferson City Rotary Breakfast Club  
(第6080地区)  
**愛知長久手RC**



## 受入 INBOUND

上から、氏名／スポンサーRC／受入先



Lauren Rae  
SCHLUETER  
レイ

**アメリカ**  
Dubuque  
(第5970地区)  
**一宮RC**



Mariah Lee  
DOES HOOKE  
マライア

**アメリカ**  
Camden  
(第7790地区)  
**津島RC**



LAHYANI,  
Miryam Yasmin  
ミリアン

**スイス**  
Zugerland  
(第1980地区)  
**高浜RC**



Amanda Kay  
FISH  
アマンダ

**アメリカ**  
Portage, WI  
(第6250地区)  
**安城RC**



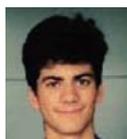
LAZARE, Lena  
Marcella Marie  
レナ

**フランス**  
Rotary La Rochelle Atlantique  
(第1690地区)  
**刈谷RC**



Heidi Cecilia  
EKBORG-OTT  
ハイディ

**アメリカ**  
Anna-Jonesboro  
(第6510地区)  
**高浜RC**



HERBRETEAU,  
Paul, Yvan, Marcel  
ポール

**フランス**  
ILE DE RE  
(第1690地区)  
**名古屋北RC**



Eduardo  
Vencovsky  
エドゥアルド

**ブラジル**  
Piracicaba Vila Rezende  
(第4310地区)  
**名古屋大須RC**



Isaiah Page  
PRICE  
アイザイア

**アメリカ**  
Omaha Suburban  
(第5650地区)  
**豊橋北RC**



Nathaniel  
James COOK  
ネサニエル

**アメリカ**  
Jefferson City Rotary Breakfast Club  
(第6080地区)  
**愛知長久手RC**

# 「ロータリー希望の風奨学金」 広がりを見せる活動の輪

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会	委員長	地葉 新司 (潟上RC)
	副委員長	前田 茂 (三次RC)
	同	川野 正久 (川崎北RC)
	同	栗田 幸雄 (福井北RC)
	同	近藤 雄亮 (名古屋瑞穂RC)
	同	松坂 順一 (東京葛飾東RC)
	監事	桑月 心 (高山RC)

2011年3月11日に発生した東日本大震災から早くも4年の月日が経過しました。この震災で両親または片方の親を亡くした約1,750人の遺児たちに奨学金(大学生、短大生、専門学校生対象)を給付する「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは、私たちロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会の運営によるものですが、おかげさまで順調に推移しています。今までに皆さまから寄せられた、さまざまなご支援に対し誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

ここで、これまでの支援実績とこれからの支援・運営方針などをご報告いたします。

## 1. 「ロータリー希望の風奨学金」の概要

**奨学生の条件:** 東日本大震災で両親もしくは片方の親を失った「遺児」で大学(短大を含む)、専門学校に学ぶ者。

**奨学金の給付:** 入学から卒業まで毎月5万円を継続して給付し、返還を求めない。

**申請から登録まで:** ①被災各県高等学校・遺児家族・本人から、在籍高等学校の推薦とともに申請を行う。資格審査(書類確認)の上、遺児には「奨学金給付者名簿登録済み」と「進学後に必要な手続き」を、推薦学校宛てには「給付決定の通知」と「推薦に対するお礼状」を送付する。②申請者が既に大学や専門学校に入学している場合は、被災遺児であることが確認できる書類と在学先の推薦状を添えて申請を行う。資格審査の上、前項と同様の手続きとする。

**奨学金給付開始:** 大学・専門学校入学と同時に、在学証明書を当協議会に送付してもらい、入学を確認後、奨学金の給付を開始する。

**後のフォロー:** 奨学生が進級するごとに在学証明書を送付してもらう。留年や停学、退学の報告を受けた時、または在学証明が更新できないときは給付を停止する。

## 2. 奨学生の実績と現状と今後の課題

プログラムの開始以来、2015年6月30日現在までに228人に奨学金を支給しています。この3年間で80人が卒業し、休学・退学などで給付を停止した15人を除き、復学した2人を加えて、現在は138人の奨学生が日本の各地で学んでいます(表1)。

奨学金の申請は基本的には在籍高等学校からの推薦になります。被災3県(岩手・宮城・福島)の県教育委員会を通じて各県内高校に「ロータリー希望の風奨学金」を紹介し、推薦をお願いしています。被災県によっては、福祉事務所や他の支援団体などが「ロータリー希望の風奨学金」について紹介している例もあります。しかしながら、被災遺児でありながら、この3県以外に住所を移している人には紹介されていません。大学生や高校生あるいは家族の方から、ホームページを見たとき相談を寄せられることもあります。数が少ないのが実情です。支援の輪を広げるとすれば、今後の課題として考えたいと思います(表2)。

(表1) 奨学金給付者の年次推移

期	期間	奨学生数
1	2011年12月～12年3月	35人
2	12年4月～12年6月	80人
3	12年7月～13年6月	143人
4	13年7月～14年6月	161人
5	14年7月～15年6月	172人

各期毎の奨学生数は、その期間に給付した実数です。給付は複数年度にわたりますので、給付者の総数は228人です。各期の期間の違いは、1期目は期末を3月末としましたが、2期目以降はロータリー年度(7/1～6/30)に変更されたためです。

(表2) 出身県別奨学生数(2015年6月30日現在)

岩手県	宮城県	福島県	計
97人	125人	6人	228人



### 3. 支援金の実績および今後支援が必要な金額

2011年11月、正式にロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会が発足しましたが、それまでに「ロータリー希望の風奨学金」の資金として用意された金額は、4億2,962万円でした。この時の予測では、2033年3月末を目標（震災当時0歳であった遺児が大学を卒業するまで）とするには、総額で10億円を超える資金が必要だとされました。

プログラムを開始してから、2015年6月30日までの3年8か月の間にさらに2億7,200万円の支援金が寄せられ、この期間に2億3,065万円が奨学金として使用されております。経費として年間24万円ほどを差

し引きますと、支援金は4億7,030万円が残されています。奨学金としては、今後6年間は維持できる状態です。当初の目標金額に対しては、これまでの実績を加味しても、約3億2,500万円の不足となります（表3）。

プログラム発足以前には、プログラムの運営・維持に対して、かなりの経費が必要ではないかとの推測やご意見もいただきましたが、ロータリアンの心は、その家族にも理解され、全くの手作りのプログラムとして運営されております。年度別の収支計算書を紹介しますが、「ロータリー希望の風奨学金」に関する振込手数料は千葉銀行のご支援を、また、消耗品の一部はオクトン社から提供していただいております。経費のほとんどは通信費（電話料、切手代金など）です（表4）。

（表3）プログラム開始から終了までの活動実績および予測

奨学生数は開始時の予測値に実績値を加味しました。

	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33
奨学生数	35人	80人	143人	161人	172人	166人	154人	136人	114人	107人	100人	100人	100人	81人	62人	49人	34人	32人	30人	28人	19人	10人	5人
	実績	実績	実績	実績	実績	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測
奨学金	← 支給した奨学金					← 継続可能な残高							← 今後支援金を募らねばならない範囲										
	支給した金額					現在の支援金残高							今後支援金を募らねばならない金額										
	230,650,000円					470,305,286円							325,144,714円										

※ 運営管理費は年間約24万円程度と少額のため、ここでは表記していません

(表4) 年度別収支計算書

(単位：円)

	1期	2期(注2)	3期	4期	5期
期間	2011/11/1～ 2012/3/31	2012/4/1～ 2012/6/30	2012/7/1～ 2013/6/30	2013/7/1～ 2014/6/30	2014/7/1～ 2015/6/30
収入の部					
前期繰越額	—	443,810,206	452,980,931	464,741,662	468,018,593
開始時資金	429,623,551	—	—	—	—
支援金	23,096,451	21,550,765	72,676,659	79,036,990	75,688,528
雑収入	19,596	0	71,894	74,687	74,502
収入合計	452,739,598	465,360,971	525,729,484	543,853,339	543,781,623
支出の部					
1 奨学金					
奨学金	8,750,000	12,300,000	60,750,000	75,600,000	73,250,000
振込手数料(注1)	0	0	0	0	0
小計	8,750,000	12,300,000	60,750,000	75,600,000	73,250,000
2 経費					
設備費	13,900	0	0	0	0
通信費	59,059	56,592	187,247	191,952	200,180
手数料	630	315	0	1,680	0
消耗品費	38,823	11,163	48,475	24,564	26,157
会議費	10,500	11,970	0	2,100	0
備品費	56,480	0	0	0	0
雑費	0	0	2,100	14,450	0
小計	179,392	80,040	237,822	234,746	226,337
支出合計	8,929,392	12,380,040	60,987,822	75,834,746	73,476,337
次期繰越額	443,810,206	452,980,931	464,741,662	468,018,593	470,305,286

(注1) 奨学金に関する振込手数料は、千葉銀行が支援 (注2) 会計年度の規約改正による変則第2期

(表5) 「ロータリー希望の風奨学金」への支援金地区別累計

(単位：円)

賛同地区および団体	2011/11	2011/12～ 2012/3/31	2012/4/1～ 2012/6/30	2012/7/1～ 2013/6/30	2013/7/1～ 2014/6/30	2014/7/1～ 2015/6/30	合計
D2580 (東京・沖縄)	97,039,926	12,941,451	2,596,371	4,934,608	12,081,171	11,363,863	140,957,390
D2650 (福井・滋賀・京都・奈良)	23,702,867			30,000,000	46,503,219	33,276,209	133,482,295
日台ロータリー親善会議		123,431,330		1,458,587	450,000		125,339,917
D2790 (千葉)	40,599,414	7,035,000	1,210,133	2,787,605	1,717,489	7,989,152	61,338,793
D2710 (広島・山口)	43,418,057			1,730,000	1,600,000	300,000	47,048,057
D2570 (埼玉西部)	17,651,920	1,120,000	243,000	5,378,595	8,554,968	8,612,357	41,560,840
D2760 (愛知)	29,849,696			1,394,226	300,000	4,382,098	35,926,020
D2720 (大分・熊本)	8,612,417	1,000,000	10,344,491	7,643,926	1,045,701	837,381	29,483,916
D2590 (神奈川)	23,475,539		220,000	329,000	300,000	3,273,000	27,597,539
D2630 (岐阜・三重)	17,062,612				197,013		17,259,625
D2750 (東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)			4,100,000	8,046,000	991,906	417,500	13,555,406
D2540 (秋田)	3,014,581		227,610	851,819	737,593	2,168,746	7,000,349
D2820 (茨城)			3,609,160	825,022	247,424	716,376	5,397,982
D2620 (山梨・静岡)				3,147,271	506,000		3,653,271
D3340 (タイ)	1,765,192						1,765,192
D9710 (オーストラリア)				700,000			700,000
D2550 (栃木)				100,000	1,354,506	230,000	1,684,506
D2610 (石川・富山)				1,000,000		623,285	1,623,285
D2670 (香川・愛媛・徳島・高知)				1,300,000			1,300,000
D2780 (神奈川)				950,000			950,000
D2830 (青森)				100,000		120,000	220,000
D2640 (大阪南部・和歌山)					2,000,000		2,000,000
D2690 (岡山・鳥取・島根)					313,000		313,000
D2530 (福島)					112,000	112,000	224,000
D2740 (佐賀・長崎)						66,400	66,400
アメリカ・台湾・団体・個人					25,000	1,200,161	1,225,161
計	306,192,221	145,527,781	22,550,765	72,676,659	79,036,990	75,688,528	701,672,944

※『ロータリーの友』2015年9月号横組みP28～30から転載

#### 4. 裾野が広がる支援の輪

支援金は当初、賛同地区のロータリアンの皆さまからのご支援を地区やクラブが取りまとめてご送金いただきましたが、この一年間を振り返りますと、クラブの創立記念や地区大会記念、東日本大震災支援をテーマとしたIMの募金活動などが多く見られます。さらに、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブやボーイスカウトの募金活動あるいはチャリティー活動としてご支援をいただくようになりました。さらに、新たに「ロータリー希望の風奨学金」を知った賛同地区以外のクラブやロータリアンの皆さまからのご支援もいただけるようになりました(表5)。

#### 5. 奨学生の声

大学3年(女子)：皆さまのご支援のおかげで、このたび私は大学3年生に進級することができました。震災の後、諦めていた大学進学を夢をかなえることができたのは、皆さまのご厚意のおかげです。本当にありがとうございます。春を迎えるたびに、自分はとても恵まれているのだなあ、と実感します。(中略)専門科目の数が増えましたし、それに加えて資格の講義も多くなりました。(中略)日々の忙しさに負けないように、時間を大切にしながら勉強を続けたいです。皆さまが与えてくださった貴重なチャンスを無駄にしないよう、精いっぱい毎日を過ごしていこうと思います。

大学1年(女子)の母親：このたびは「ロータリー希望の風奨学金」の給付を決定してくださり、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。あの東日本大震災の当初の2年間というものは、娘も私も、身も心もボロボロで、どうやって毎日生きていこうかと日々闘いの連続でした。あれから3年という月日がたち、今ではやっと普通の生活が送れるようになりました。

娘が去年高校3年生になり、夏前ごろに「私も大学進学したい」と強く言われた時は、正直どうしようかと、とても悩んでおりましたが、このような奨学金があることを知り、また、娘も受けられるかもしれないと思うととてもうれしくて仕方ありませんでした。

このように貴重な奨学金を受けさせてもらう以上、娘にはしっかり大学で勉強してもらい、将来必ず社会や人々のお役に立てる人になってほしいと心から願っております。どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。皆さまにもよろしくお伝えくださいませ。ありがとうございます。

大学4年(女子)：私は今、幼稚園で4週間教育実習をさせていただいております。大変なこともあります、学び多き充実した日々を送っています。残り一週間となりますが、悔いの残らないよう精いっぱい頑張りたいと思います。このように、夢に向かって学ぶことができるのも皆さまのお力のおかげです。今年度もよろしくお願いいたします。

専門学校2年(男子)：いつもお世話になっております。今年度無事に進級し、今は就職活動に頑張っております。希望する仕事に就けるように努力します。また今年度もよろしくお願いいたします。

#### 6. ご支援くださる皆さまに

冒頭に申し上げましたように、東日本大震災の発生からはや4年が過ぎましたが、「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは被災遺児やご家族にとって、教育環境支援として役立っていることは、遺児や保護者から寄せられる感謝の声が如実に物語っております。

私たちの「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは、不幸な遺児やその保護者たちにそっと寄り添って、静かに「希望の風」を送り続ける奉仕活動です。それによって、遺児たちが社会人として立派に成長した時、真の東北の復興に役立つ人々として活動してくれるものと確信しつつ活動を続けております。

「ロータリアンは東日本大震災を決して忘れません。全ての遺児が進学の希望をかなえることを目標に、粘り強く続けていきます」とのメッセージを発するとともに、プログラム継続を約束しなければなりません。震災後、4年が過ぎ、6年間分の蓄えができたとは言え、残り12年分の資金を確保しなければなりません。このプログラムにご理解とご賛同をいただき、引き続きのご支援と、新たなご支援をお願いいたします。

(文責：第2540地区パストガバナー 地葉 新司)

#### 連絡先

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1階  
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内  
Tel:03-5250-2050 Fax:03-5250-2050  
Eメール r.kibunokaze@wave.plala.or.jp

#### 支援口座(口座名義)

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会  
千葉銀行 銚子支店 普通預金口座 3549340

### 2015-16年度 RPIC目標

ラビンドランRI会長が、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)に対して、2015-16年度の目標を提示されました。我々も、それを実現すべくゾーン毎に(日本は第1ゾーン・第2ゾーン・第3ゾーン)各地区とコミュニケーションを十分にとって公共イメージの向上に努力したいと思います。以下にその目標の概要を記します。

#### ◆目的

RPICは、クラブと地区に対し、情報や広報、マーケティングにおける高度な支援を提供し、さらに地区やクラブのロータリアンが地域の方々にロータリーのストーリーを伝えるための研修を支援します。ロータリーのストーリーを最も効果的に伝えるのは、クラブが実施しているボランティア活動です。RPICの活動はその広報に重点を置く必要があります。

#### ◆RPICの優先事項

- 地元メディアによる報道の推進
- ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進
- デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

#### ◆地元メディアによる報道の推進

以下の項目に関する個別の報道を実現する

- 奉仕プロジェクト
- 地元クラブによる恩恵を受けた人々や団体の紹介
- 地元での行事／募金活動
- ポリオ撲滅又は6つの重点分野
- 交流／ネットワークづくりの機会

#### ◆ビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進

- 6割のクラブが、ウェブサイトやソーシャルメディア、出版物(パンフ・推進資料等)において、ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスを導入するようにする。
- 地区レベルで実際に導入しているクラブを紹介し、他クラブを啓蒙する。

#### ◆デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

- 「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドを活用し、ソーシャルメディア研修キットを配布し、その活用を奨励する。

上記のRPIC目標を実現するために、我々RPICは各地区には様々な協力をお願いしてまいりますので、宜しくお願い致します。

### ロータリー広報実績の集積について

ラビンドランRI会長は戦略計画3つの優先項目のひとつ「公共イメージと認知度の向上」に関して、各地区、クラブに以下の目標を掲げておられます。

- 1 地元メディアによる報道の推進
- 2 ボイスとビジュアルアイデンティティの導入促進
- 3 デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

それぞれについてクラブレベル、地区レベルで取り組むべき具体的活動指標は図1～3の通りです。  
(目標2に対するガイドはRIホームページから入手できる図4に示すものです)

まずは目標1から取り組んで下さい。ロータリーが地域社会で行っている事をしっかりと伝える必要があるのです。我々は今までともすればその点には無頓着であり、またそうする事がロータリーらしさと考えていたきらいがあったのではないのでしょうか。

さらにこれらの広報実績をジャパンデータとして集積すべく図5のシステム構築を計画中です。

今後、渡辺敏彦Zone1RPIC、高野孫左エ門Zone2RPICと協働し、できるだけ早くしっかりとしたシステムを作り上げお示ししたいと考えています。現時点では上記の目標1に関する実績を地区で集積しておいて下さい。

皆様のご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願いします。



# ハイライトよねやま 185

2015年8月13日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 2015-16 年度も好調にスタート —

2015-16年度最初の月となる7月の寄付金は約2億2,400万円、前年度に比べて5.6%増、約1,200万円の増加となりました。3年連続して7月の寄付額が2億円の大台を突破する好調な滑り出しとなりました。寄付者の皆様に厚く御礼申し上げます。米山記念奨学事業は、日本全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、事業の継続と発展のため、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## 来春採用の奨学生募集がスタート

2016年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で528校（前年度533校）、指定校からの被推薦者数は1,643人（前年度1,644人）で、この中から新規奨学生約540人が選ばれます。

地区奨励奨学金（大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象）を導入した地区は13地区で、指定校は過去最多の26校、そのうち6校が初指定となりました。また、指定校への要望として、地区独自の推薦基準を提示したのは34地区中30地区でした。最も多かった要望は、被推薦者の国籍が偏らないよう配慮して欲しいというもの、次いで、「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。募集要項・申込書は例年より早く、7月27日に全指定校へメールで案内しました。 ※2016学年度採用の指定校や募集要項などの書類は当会ホームページにて公開しています。

## さまざまな寄付のカタチ — 大学の共同研究者から —

米山記念奨学金には、いくつか特殊なプログラムがあります。そのうちのひとつ「海外学友会推薦奨学金」は、海外の米山学友会が各国内で日本留学希望者を募集・選考して推薦する制度で、各学友会の希望によって、博士号を取得した上級研究者か、博士課程に進学予定の若手研究者が対象となります。現在は、台湾に2人、韓国と中国に1人ずつの推薦枠があり、海外学友会の活性化や現地での米山記念奨学金の認知度向上に役立っています。

漢陽女子大学教授の金容安キムヨンアンさんは、韓国米山学友会の推薦を受けてこの奨学金に合格。昨年7月に来日して1年間、昭和女子大学で日本近代文学についての研究を深めました。その間、世話クラブである東京原宿RCの例会に毎月出席して会員との交流を育み、第2750地区米山奨学委員会主催の広島研修旅行にも参加するなど、日本での見聞を広めました。奨学期間を終えて金さんは帰国しましたが、このたび、共同研究者の大学教授から、東京原宿RCを通じて当会へご寄付をいただきました。ご希望によりお名前の紹介は差し控えますが、教授が同RCに宛てた感謝のメッセージを抜粋してご紹介します。

「今回の金先生の受け入れを通じ、長年留学生教育に携わってきた者として、私自身もあらためてロータリークラブの国際友愛精神に感じ入るところがありました。皆さまから頂いたご厚情に対する御礼の気持ちとして、少額ですが、ロータリー米山奨学会の今後の活動にお役立ていただければ幸いに存じます。金先生は、今回与えていただいた日本での研究機会を糧に、韓国における日本文学研究・日本語教育に一層励まれ、日本と韓国の友好にご尽力いただけるものと確信しております」



世話クラブの例会に出席する金容安さん(左)

## ネパール復興支援に心を合わせて — 関西学友会総会 —

「米山奨学生学友会（関西）」（第 2660 地区／以下、関西学友会）の総会および新規奨学生歓迎会が 7 月 5 日、大阪市内で開かれ、同地区の学友・奨学生・ロータリアンのほか、韓国・中国・台湾・タイなど海外学友会や国内他地区からの学友会会員、ロータリアンら、総勢約 170 人が出席しました。



今回の総会テーマは『実践躬行』。開会のあいさつに立った 2013-15 年度同学友会会長の何玉翠<sup>ホーユーツイ</sup>さんは、「学友会は楽しくない、私もかつてそう思っていた一人かもしれない。けれども今思うのは、学友会は自分で育てるもの。結果でなく、過程が一番大事だと考えている。今日の総会・懇親会では、ネパール復興支援のさまざまなプログラムを企画した。今日は悲しみではなく、ネパールの明るい未来のために、皆で力を合わせたい」と、テーマに込めた



た思いを力強く語りました。学友会メンバーは国籍にかかわらず、女性は手作りのネパール民族衣装に身を包み、男性はネパールの帽子をかぶって復興支援をアピール。各テーブルには募金箱が置かれ、ネパール音楽祭として、何会長はじめ、学友会メンバーがネパールの踊りや歌を披露。最後は、ネパールの民族太鼓に合わせて、大勢の参加者が会場内を踊りながら練り歩きました。

## 米山漬けの一日 — 第 2680 地区米山奨学セミナー —



第 2680 地区（兵庫県）で 7 月 25 日、米山奨学セミナーが開催され、地区役員のほか、カウンセラー、クラブ米山委員長、奨学生、学友など 197 人が参加しました。

セミナーには元よねやま親善大使の尤銘煌さんが講演に招かれ、さまざまな国の楽器や玩具を実演しながら、世界には多くの共通点があり、互いの文化を理解することが平和につながると力説する姿に多くの参加者が引き込まれました。カウンセラー体験談では、工夫の実例とともにカウンセラーのやりがい

熱く語られ、「奨学生は世界と日本を結ぶ懸け橋、カウンセラーはクラブと奨学生を結ぶ懸け橋」との名言が飛び出しました。丸尾ガバナーの指揮により、大好評の YONEYAMA 体操で体をほぐしたあとは、奨学生選考について詳細な説明、また、新学友会長となったセ連波<sup>ニエレンボ</sup>さん（2003-04／小倉西 RC）から学友会活動や帰国学友からのビデオメッセージ紹介がありました。

なお、受付では 10 周年を迎えた同地区米山学友会が第 3 回目となるネパール震災支援募金を行い、総額 172,505 円を P HD 協会へ寄付しました。



## お知らせ★

- 2015-16 年度よねやま親善大使の紹介 DVD が完成！※当会 HP から視聴可能
- ネパール大地震義援金の受付は 8 月 31 日当会着金分にて終了します





「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 貴重な古文獻

- ◆ 「YOKOHAMA」 PAUL P. HARRIS / 1935 / 11p (PEREGRINATIONS volII)
- ◆ 「今は昔」 米山梅吉 / 1923 / 4p (提督ペルリ)
- ◆ 「八十五年前の日本」 米山梅吉 / 1938 / 52p (看雲録)
- ◆ 「かたみの文ー伊豆山寺の一夏」 米山東一郎 (米山梅吉編) / 1921 / 18p (東一郎)
- ◆ 「八十七日 (米山梅吉歌集)」 米山梅吉 / 1922 / 92p
- ◆ 「何故ニ 漢字ヲ ヨクナイカ」 星野行則 / 1924 / 12p (國字問題ー漢字ヨリノ解放)
- ◆ 「感謝観念」 星野行則 / 1943 / 6p (私ノ心理生活)
- ◆ 「ガバナー告辞」 星野行則 (大阪R.C.) / 1952 / 6p (国際ロータリー第60区大会記録)
- ◆ 「ロータリー大會に際して (ラヂオを通じてロータリアンの講演放送)」 村田省蔵 / 1934 / 8p (ロータリー第七十区第六年次大会記録)
- ◆ 「追憶談」 下村海南 (津島純平編纂) / 1950 / 6p (平生鈞三郎追憶記)

### 〈ロータリー文庫〉

申込先

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL / (03)3433-6456 FAX / (03)3459-7506  
開館 / 午前10時～午後5時 休館 / 土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

第2760地区  
HPより、  
随時受付中!

## 2015-16年度〈ガバナー月信〉個人配信 登録方法

HPアドレス▶ <http://www.rotary2760.org/g15-16/go/monthly.html>

**1** 上記のHPアドレス、もしくは第2760地区のHPトップの「ガバナー月信 登録受付中」のバナーよりページを開く。

**2** 登録フォームに自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックして登録完了となります。

登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

※前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません



# 会員数及び出席報告 (2015年7月末)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER September 2015-16 Rotary International District 2760

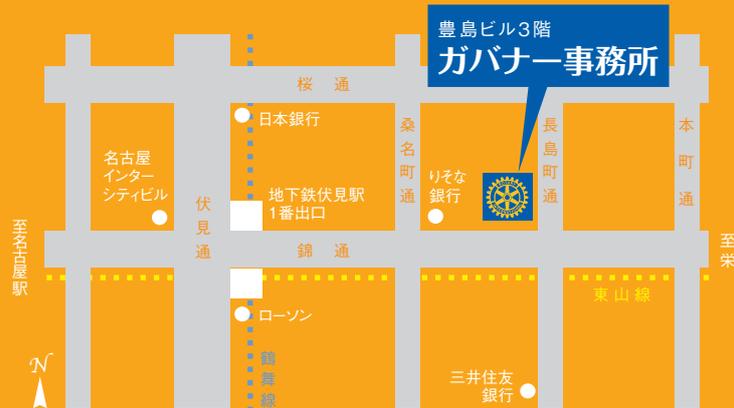
クラブ名	会員数			当月女性	入会			退会			例数	7月出席率
	2015年7月1日	2015年7/1女性	2015年7月末日		7月	累計	7月	累計	7月	累計		
南尾張分区	半田	61	4	62	4	1	1	0	0	5	100.00%	
	常滑	35	0	35	0	0	0	0	0	4	96.97%	
	東海	59	3	59	3	0	0	0	0	5	95.49%	
	東知多	23	1	23	1	0	0	0	0	5	82.61%	
	半田南	36	1	36	1	0	0	0	0	4	94.87%	
	知多	24	2	25	2	1	1	0	0	3	90.10%	
	大府	14	0	15	0	1	1	0	0	4	86.31%	
	7RC	252	11	255	11	3	3	0	0	0	92.34%	
西尾張分区	一宮	86	1	94	2	8	8	0	0	5	98.06%	
	津島	67	4	67	4	0	0	0	0	5	99.04%	
	尾西	17	1	17	1	0	0	0	0	3	98.04%	
	一宮北	38	3	39	3	2	2	1	1	5	96.27%	
	稲沢	51	1	50	1	0	0	1	1	5	92.14%	
	あま	79	2	79	2	1	1	1	1	3	100.00%	
	名古屋清須	31	2	31	2	0	0	0	0	3	88.21%	
	尾張中央	30	0	30	0	0	0	0	0	5	94.38%	
	一宮中央	43	6	43	6	0	0	0	0	5	93.02%	
	9RC	442	20	450	21	11	11	3	3	0	95.46%	
東尾張分区	瀬戸	61	6	62	6	1	1	0	0	4	100.00%	
	犬山	61	0	61	0	0	0	0	0	4	100.00%	
	江南	48	0	48	0	0	0	0	0	5	96.12%	
	小牧	29	2	29	2	0	0	0	0	4	92.56%	
	春日井	57	2	58	2	1	1	0	0	5	98.60%	
	尾張旭	22	1	21	1	0	0	1	1	4	96.59%	
	名古屋空港	50	1	50	1	0	0	0	0	3	100.00%	
	瀬戸北	63	6	63	6	0	0	0	0	4	100.00%	
	岩倉	14	1	14	1	0	0	0	0	3	90.48%	
	名古屋城北	25	4	26	4	1	1	0	0	4	95.74%	
	愛知長久手	18	4	19	4	1	1	0	0	4	96.05%	
	愛知ローターEクラブ	18	4	18	4	0	0	0	0	5	100.00%	
	12RC	466	31	469	31	4	4	1	1	0	97.18%	
西名古屋分区	名古屋	179	0	184	0	6	6	1	1	4	84.68%	
	名古屋西	99	0	103	0	4	4	0	0	5	86.94%	
	名古屋南	113	0	113	0	0	0	0	0	5	96.24%	
	名古屋みなと	69	0	70	0	1	1	0	0	5	100.00%	
	名古屋東南	81	7	81	7	0	0	0	0	5	93.96%	
	名古屋中	134	0	134	0	0	0	0	0	3	97.82%	
	名古屋瑞穂	66	0	66	0	0	0	0	0	5	97.13%	
	名古屋大須	57	5	57	5	0	0	0	0	5	92.86%	
	名古屋栄	86	0	86	0	0	0	0	0	3	94.66%	
	名古屋名南	53	9	55	10	2	2	0	0	4	93.91%	
	名古屋名駅	80	6	80	6	0	0	0	0	5	100.00%	
	名古屋丸の内	50	7	50	7	0	0	0	0	4	95.79%	
	中部名古屋みらい	21	6	21	6	0	0	0	0	4	65.76%	
	13RC	1,088	40	1,100	41	13	13	1	1	0	92.29%	

クラブ名	会員数			当月女性	入会			退会			例数	7月出席率
	2015年7月1日	2015年7/1女性	2015年7月末日		7月	累計	7月	累計	7月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	93	0	98	0	5	5	0	0	5	99.20%	
	名古屋東	88	0	88	0	0	0	0	0	3	92.50%	
	名古屋守山	40	3	40	3	0	0	0	0	5	89.60%	
	名古屋和合	105	0	106	0	1	1	0	0	5	83.96%	
	名古屋名東	65	9	65	9	0	0	0	0	4	93.68%	
	名古屋名北	37	5	37	5	0	0	0	0	5	94.23%	
	名古屋千種	38	3	38	3	0	0	0	0	4	92.98%	
	名古屋昭和	52	2	54	2	2	2	0	0	3	100.00%	
	名古屋錦	28	9	28	9	0	0	0	0	4	89.27%	
	名古屋東山	32	7	33	7	1	1	0	0	5	92.48%	
	名古屋葵	20	0	20	0	0	0	0	0	5	70.00%	
	名古屋アイリス	37	14	37	14	0	0	0	0	5	81.08%	
	12RC	635	52	644	52	9	9	0	0	0	89.92%	
東三河分区	豊橋	113	3	115	3	2	2	0	0	5	95.30%	
	蒲郡	54	0	55	0	1	1	0	0	5	90.37%	
	豊橋北	70	4	71	4	1	1	0	0	4	100.00%	
	豊川	73	1	74	1	1	1	0	0	5	94.74%	
	田原	41	1	41	1	0	0	0	0	5	94.54%	
	豊橋南	56	0	56	0	0	0	0	0	3	98.63%	
	新城	43	2	43	2	0	0	0	0	4	84.99%	
	渥美	34	0	34	0	2	2	0	0	5	87.50%	
	豊川宝飯	60	2	61	2	1	1	0	0	4	92.08%	
	豊橋ゴールデン	63	2	63	2	0	0	0	0	5	96.83%	
	田原パシフィック	48	1	49	1	1	1	0	0	4	89.24%	
	豊橋東	40	0	41	0	1	1	0	0	5	92.20%	
	12RC	693	16	703	16	10	10	0	0	0	93.04%	
西三河分区	岡崎	92	0	92	0	0	0	0	0	5	100.00%	
	豊田	97	0	97	0	0	0	0	0	4	98.89%	
	岡崎南	92	2	93	2	1	1	0	0	4	99.71%	
	豊田西	96	0	96	0	3	3	3	3	3	100.00%	
	岡崎東	58	1	59	1	1	1	0	0	5	98.49%	
	豊田東	77	0	78	0	1	1	0	0	4	94.81%	
	岡崎城南	69	0	70	0	1	1	0	0	4	91.68%	
	豊田三好	21	0	21	0	0	0	0	0	3	89.55%	
	豊田中	42	6	43	6	1	1	0	0	4	100.00%	
	9RC	644	9	649	9	8	8	3	3	0	97.01%	
西三河分区	刈谷	91	6	91	6	0	0	0	0	3	100.00%	
	安城	59	5	60	6	1	1	0	0	5	95.97%	
	西尾	78	1	78	1	0	0	0	0	4	97.29%	
	碧南	68	3	69	3	1	1	0	0	5	100.00%	
	西尾一色	26	0	28	0	2	2	0	0	4	98.15%	
	高浜	31	2	33	2	2	2	0	0	4	100.00%	
	知立	61	0	61	0	0	0	0	0	5	100.00%	
	西尾KIRARA	57	1	57	1	0	0	0	0	5	99.56%	
	三河安城	63	6	64	6	1	1	0	0	4	97.58%	
	9RC	534	24	541	25	7	7	0	0	0	98.73%	

	クラブ	平均
平均出席率	83	94.49%

地区内クラブ数 83RC	7月1日会員数	4,756名 (内女性/203名)	増加会員数 (累計)	65名
	7月末会員数	4,811名 (内女性/206名)	減少会員数 (累計)	8名
	当月平均出席率	94.49%	差引純増会員数 (累計)	57名

7月	入会	退会	純増
	65名	8名	57名



〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階

### ガバナー事務所

TEL. 052-201-2760 FAX. 052-201-1670  
E-mail. governor15-16@rotary2760.org

### ガバナーエレクト事務所

TEL. 052-203-2760 FAX. 052-201-1670  
E-mail. governor16-17@rotary2760.org

### ロータリー財団

TEL. 052-211-2760 FAX. 052-211-0230  
E-mail. fbranch@rotary2760.org

### 米山記念奨学・青少年交換

TEL. 052-228-0808 FAX. 052-211-0230  
E-mail. ybranch@rotary2760.org (米山記念奨学)  
yebranch@rotary2760.org (青少年交換)



国際ロータリー〈第2760地区〉

ガバナー 加藤 陽一